

FREE

ご自由にお持ちください。

No.841
2023 October

10

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



白山白川郷ホワイトロードの紅葉



●詳細は3ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

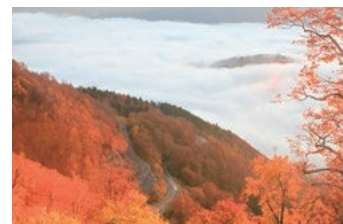
<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
10月19日(木)	岐阜の森の文化・ 木の文化フォーラム	岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例に際し、岐阜の木の文化、森の文化を発信するためのフォーラムを開催します。 ●時間：14:00~16:30 ●申込：~10月6日(金) ●定員：100名(無料)	森林文化アカデミー 森の情報センター TEL:0575-35-2525
			県産材流通課 TEL:058-272-8487
11月11日(土)	狩猟免許試験 (わな猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9:30~17:00 ●申込：10/6~10/20 ※事前に申請書類等の提出が必要です。 詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
			各地域を所管する県事務所等、または環境生活政策課 TEL:058-272-8231
12月8日(金)	狩猟免許試験 (第一種銃猟、第二種銃猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9:30~17:00 ●申込：11/2~11/17 ※事前に申請書類等の提出が必要です。 詳しくは右記にお問い合わせください。	恵那総合庁舎大会議室
			各地域を所管する県事務所等、または環境生活政策課 TEL:058-272-8231



イベントカレンダー(一般向け).....	2
白山白川郷ホワイトロードの紅葉.....	3
ぎふ木育WEEK with 恵みの森づくりコンソーシアムを開催しました.....	3
森林環境譲与税のお悩み相談は、 地域森林管理支援センターへ(5).....	4
シリーズ...ぎふの木、使います！(1).....	5
令和5年度治山林道工事等コンクール.....	6
森林と人を活かす知恵(129) 大径材の時代がやってきた.....	7
山の歳時記(218) スギヒラタケ.....	8
山のおしゃまむし(387) ー人気がない、ゾウムシー.....	9
シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎぶづくり(5).....	10
国有林の現場から(84).....	11
岐阜農林高等学校からインターンシップ受け入れ.....	11
ぎふ木遊館通信.....	12
morinos の出前体験!!.....	13
木の香るぎふの施設(127) 住宅型有料老人ホーム きすな.....	14
研究コーナー.....	15
ツリーシェルターがヒノキ苗木の成長に及ぼす影響.....	16
普及コーナー 林業デジタル化の推進について.....	18
豊富な保証実績により経営をサポートします.....	19
林業者向けお知らせ.....	20
市況.....	20

目次 Contents



表紙●詳細は3ページをご覧ください。

白山白川郷ホワイトロードの紅葉

白山白川郷ホワイトロードは、9月下旬より紅葉が始まっており、標高差が大きいので、11月上旬までの長い期間にわたって紅葉を楽しむことができます。展望台や車窓から眺める赤や黄色の紅葉は、針葉樹の緑に映えてとても鮮やかに彩られます。昨年度整備が完了した「白川郷展望台」からの紅葉や早朝の雲海も絶景です。

災害による通行止め状況及び紅葉情報はホームページにて随時更新していますので、お出かけの際はご確認ください。

通行料金

	利用料金
軽自動車	1,400円
普通自動車	1,700円
マイクロバス	5,000円
大型バス	11,000円



営業期間 11月10日(金)まで(予定)

利用時間 8時~17時(出口閉門時間 18時)
ただし、9月23日(土・祝)から10月22日(日)までは、開門時間を1時間早める「秋のモーニングタイム」実施します。

ホームページ <https://hs-whiteroad.jp>



紅葉のホワイトロードと雲海

お問い合わせ先

(公社)岐阜県森林公社 白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664

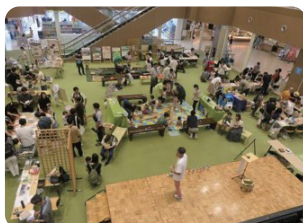
【森林保全課 水源林保全係】

ぎふ木育WEEK with 恵みの森づくりコンソーシアムを開催しました。

8月の「ぎふの山に親しむ月間」の行事として、県民一人ひとりが楽しみながら、ぎふの山や自然のことを考えていただく機会となるよう、令和5年8月5日(土)、6日(日)の2日間、カラフルタウン岐阜1階カラフルパークにおいて、恵みの森づくりコンソーシアムの会員の方々にもご協力いただき、各種ワークショップ、移動型ぎふ木遊館(ぎふの木のおもちゃ広場)、クイズラリー等を開催しました。

両日とも、多くの方に御来場いただき、会場中から楽しそうな声が聞こえてきました。きっと夏休みの思い出の一つになったのではないかと思います。

今後も、本県の豊かな森林を背景とした森と木からの学び「ぎふ木育」を通じて、森林づくりや県産材利用等に理解と関心を深めていただければと思います。



会場内の様子



ワークショップ



ぎふの木のおもちゃ広場



丸太切り体験

主催

岐阜県、(公社)岐阜県山林協会、(公社)岐阜県緑化推進委員会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会

共催

恵みの森づくりコンソーシアム

お問い合わせ

森林活用推進課 森林活用係
TEL:058-272-8472 FAX:058-278-2702 E-Mail:c11513@pref.gifu.lg.jp

森林環境譲与税のお悩み相談は、 地域森林管理支援センターへ

第5弾

～どこにあるかわかりますか？ 自分の山林。
把握してますか？ その境界？～

地域森林管理支援センター長 荻巣 雅俊

それにしても暑い。「史上最も暑い7月だった。」と「世界中至る所で大規模な山火事が起きている。」という2つのニュースを聞きながらこの原稿を書いています。専門家の多くは、来年の夏は、もっと熱く(暑くではなく)なると警告しています。もはや、地球は、人類が安全に活動できる限界を超えつつあるのではないだろうか。2009年にロックストローム氏が発表した「プラネタリー・バウンダリー(地球の限界)」を迎えつつあるのではと強く感じているところです。さりとして、我々にもできることがあります。陸上で最も大きな生態系の一つである森林を健全な姿で維持し、地球の自力回復力を助長すること。具体的には、現在取り組んでいる「森林経営管理制度」推進のスピードを緩めないことです。

公的な森林整備を進めるための課題

そのスピードを加速させるため、岐阜県では、令和3年度に「地域森林管理支援センター(以下、センターという)」が設置され、まる2年が経ちました。この2年間に多くの相談が寄せられました。その中で、岐阜県ならではの悩みが、「森林所有者の特定」と「所有界の明確化」という項目です。この2つの項目がわからないと公的支援を活用して森林の整備を進めることができません。何故、このような問題が起こるのでしょうか？ それには、主に二つの理由があります。

一つ目は、森林は、山間部に多く存在し、日常的に行くことが出来る場所は、そう多くはありません。昔は、親が子と一緒に所有する森林を歩いて回ったりして場所や境界等の情報が引き継がれ、資産としての相続がなされてきました。現在は、資産として森林の価値が高くないため、確実な引継ぎがなされない事例が多くみられるようになってきました。二つ目は、「地籍調査」の進捗の低さです。ご存知のように、日本では、国土調査法に基づき、「地籍調査」が実施されており、土地の所有者や地番やその境界が主に市町村によって公費で調査されます。全国における地籍調査の進捗率は52%です。最も高い佐賀県の99%に対して、岐阜県はわずか18%です。この二つの理由により、岐阜県では、森林所有者の特定と所有界の明確化ができていない森林が多く存在することとなっています。

「森林所有者の特定」と「所有界の明確化」

公的支援を活用して森林を整備していくためには、所有者の特定と境界の明確化を行いながら、整備計画の作成が求められます。このためには、岐阜県の保有する森林資源情報(所有者、面積、樹種、林齢、蓄積、土壌、施業履歴等の情報:「森林簿」という)とそれを面的に表した附図、市町村の保有する林地情報(所有者、境界等の情報:「林地台帳」という)と境界図、そして市町村の課税情報(固定資産税の払い主)が必要であり、その整合性も図る必要があります。

所有者を特定するためには、森林の有する地番と所有者を対応させる必要があります。一般的な場合は、課税台帳の情報を元に、森林簿・林地台帳の情報と整合性を図り、所有者の特定を行います。

所有界を明確にするためには、所有者の立会の下、境界の測量を行い、作成した図面について、所有者に同意をとり、その図面情報を森林簿の附図と林地台帳の境界図に反映させる作業が必要となります。最近では、所有者の高齢化や所有者が県外所在のケースもあり、デジタルデータを駆使して現場の立会をなくして境界を確定する手法も確立されています。

これら、一連の作業は、森林環境譲与税等を活用して市町村等が実施することができます。センターでは、市町村担当者にこれら作業の具体的な実施方法についての研修を実施しています。担当者からは、「業務に大いに参考になる。業務の効率化に役立てたい。」等の声がセンターに届いています。

折しも、所有者不明土地関連法の施行が行われ、土地や建物の相続を知った日から3年以内の登記申請が義務づけられます。登記の手続きの簡素化や、奥山林のような管理が難しい場合は、相続した土地を手放して国庫に納められる制度の新設も併せて実施されています。

こういった制度も利用し、県内の私有林が、適正に維持・管理できるよう、引き続き「オール岐阜体制」で、「森林所有者の特定」と「所有界の明確化」に向けて取り組んでまいります。



所有者不明土地関連法についての研修

森林経営管理制度や
森林環境譲与税に関する
お悩み相談は？

「地域森林管理支援センター」まで

TEL:058-201-5013 FAX:058-275-4398 E-mail:f-shien@g-moriren.or.jp
〒500-8356 岐阜市六条江東2丁目5番6号 岐阜県森林組合連合会内



“ぎふの木”使います!

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結者のご紹介 —

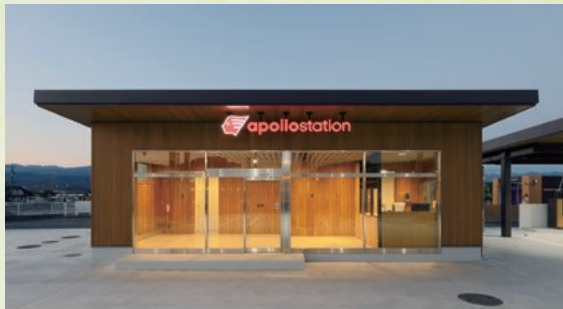


岐阜県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、事業者が県と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

このたび、令和5年7月27日に第1回目となる協定締結式を執り行い、15事業者（14協定）と協定を締結しましたので、シリーズで各協定締結者をご紹介します。

出光興産株式会社(東京都)

ホームページ <https://www.idemitsu.com>



<今までの取り組み内容>

- 「給油所でのカーボンニュートラルへの挑戦」 「国内林業振興への貢献」を旗印に、昨年、給油所としては日本初のCLTを活用した「apollostation type Green」を全国に3店舗建設しました。(高知県、兵庫県、埼玉県)
- 可能な限り地元産材を使用し、先行店舗では1ヶ所あたり約100トンのCO₂固定化、削減効果を見込んでいます。
- 危険物施設である給油所の木造化、木質化の事例であり、これまでにない意匠性も持たせたこともあって多くの媒体にも取り上げられました。

<今後の取り組み内容>

豊かな森林を有する岐阜県内および隣接県でも早期に木造・木質化店舗を建設すべく、対象店舗の選定を進めていきます。

大垣共立銀行株式会社(大垣市)

ホームページ <https://www.okb.co.jp>

OKBグループは、サステナビリティを巡る課題への対応を重要な経営課題として認識し、「地域循環型社会の担い手として、持続可能な地域づくりに貢献する」ことで、OKBグループの経営の基本理念の実現を図っています。

こうした中、地球環境との共生が持続可能な社会の基盤となることを意識し、自然豊かな環境を未来に引き継ぐため、気候変動問題や環境保全活動に積極的、継続的に取り組んでいます。

2023年1月に移転オープンした「ぎふ県庁支店」、4月にオープンした「OKB岐阜中央プラザわくわくベースG」では岐阜県産の木材をふんだんに利用するなど、自然素材、再生材を利用した店舗づくりに取り組み、「清流の国ぎふ」をイメージした、親しみやすく、温かみのある空間としました。

<今後の取り組み内容>

これからも店舗開発において、岐阜県産木材を利用した木造化の検討や、岐阜県産木材を使用した家具を優先的に採用するなど、地域循環型社会の醸成に取り組めます。



令和5年度 治山林道工事等コンクール

(公社)岐阜県山林協会主催の令和5年度治山林道工事等コンクールを県林政部の協力により6月に開催し、下記の方々を受賞が決定しました。受賞されました皆様誠にありがとうございます。

なお、最優秀、優秀賞の受賞者には、8月7日に開催しました山林協会の定時総会で表彰を行い、入賞の方々は所管の農林事務所長様から伝達していただきました。

また、各部門の最優秀表彰者は日本治山治水協会・日本林道協会主催の全国治山林道工事コンクールに岐阜県代表として推薦します。



最優秀工事等のご紹介

林道維持管理の部 郡上市



林道桑ヶ谷線

治山工事の部 (株)三島組



復旧治山事業小洞地区工事(補正)

林道工事の部 (株)中島工務店



森林基幹道尾城山(5)開設工事

林道木材使用工事の部 郡上農林事務所林業課



林道二間手～水沢上線(4工区)開設工事

受賞者一覧

表彰区分	表彰区分	工事名(路線名)	受賞者名
林道維持管理	最優秀	林道桑ヶ谷線	郡上市
治山工事	最優秀	復旧治山事業小洞地区工事(補正)	(株)三島組
	優秀	公共復旧治山事業出水洞外2地区工事	はぎわら e (株)
	入選	県単治山事業上羅地区工事	イビデングリーンテック(株)
	入選	予防治山事業(谷東)工事	加藤建設(株)
	入選	公共復旧治山事業(補正)大巻地区工事	ハラ建設(株)
林道工事	最優秀	森林基幹道尾城山(5)開設工事	(株)中島工務店
	優秀	林道大谷～大栃線(2工区)開設工事	(株)名畑組
	入選	林道揖北線開設工事	西建産業(株)
林道木材使用工事	最優秀	林道二間手～水沢上線(4工区)開設工事	郡上農林事務所林業課

●大径材の時代

一九八〇年代、昭和が平成になるころ、「間伐材・中目材の利用」が林業界のテーマでした。未成熟部分が多く（くるいやすい）、大きな節もあるので、材質的な課題を解決しながら使う時代でした。二〇二三年の現在では、「大径材の利用」が課題です。隔世の感がありますね。

【大径材（元玉）の材質面の特徴】

・生育時に、材を地面に引き寄せるようにして、大きな樹体を支えています。根本に近い部分の、幹の周辺部に大きな引張力がかかります（図-1）。



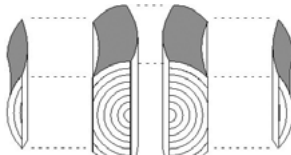
出典:すばらしい木の世界、日本木材学会
図-1 立木にかかる力の模式図



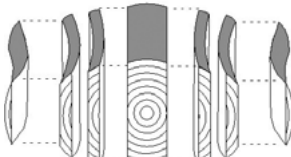
写真-1 目まわりで破断



写真-2 挽き曲がりの例



心去り2丁どり



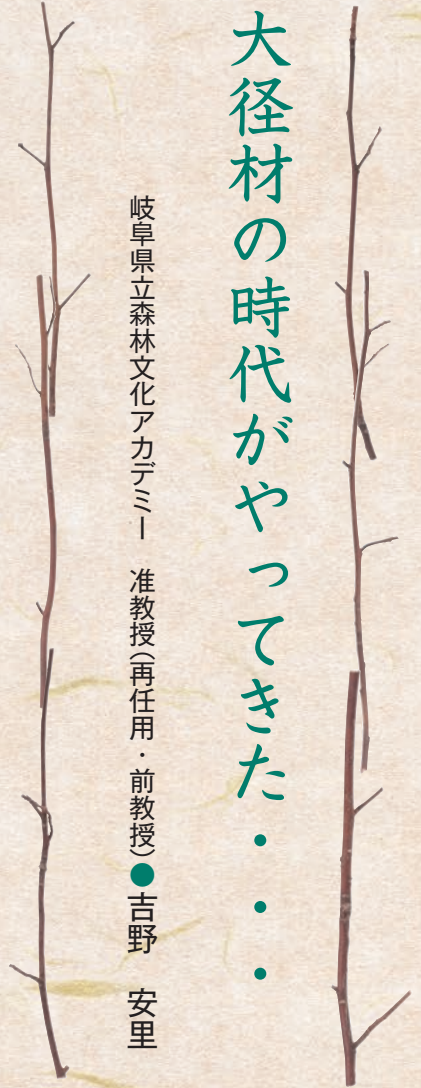
心持ち1丁どり

図-2 木どりと挽き曲がり

無節や小節の板が得られるのは魅力です。家具や内装などに活用できます。板は集成材に使うことも可能です。しかし、丸太の全部を板に挽くのは、製材歩留まりが悪くなる（オガコになる部分が多くなる）ので、もったいない気もします。なお、大径材でも二番玉、三番玉になると、従来どおりの製材ができます。

大径材の時代がやってきた・・・

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授(再任用)・前教授 ●吉野 安里



一般的には、元玉の直径二〇cmまでの部分は小節、超える部分は無節です。枝打ちや、低い枝が枯死するためです。目回りに注意。生育時に風などの強い力を繰り返し受けることで、材の内側と外側でズレが生じて年輪界に沿って割れが生じることがあります（写真-1）。

【大径材の利用上の課題点】

・大径に対応する製材機が少ない。最近、製材機を大型化する動きがあります。挽き曲がりが生じる。大きな成長応力が、製材によって一気に解放され、大きく曲がります（写真-2）。

・大断面の乾燥は、時間がかかり、水分傾斜（表面は乾いているが内部は乾いていない状態）を少なくするのが難しい。横架材（おうかざい・梁や桁）で使う場合、乾燥が不十分のまま、力がかかる。水分の減少とともにたわみが大きくなります（メカノソープタイプ現象）。

・大径材の利用上の工夫
・髄（丸太の中心）で挽き割ると大きく曲がります。髄が勝手にころがる、一階の戸やふすまの開け閉めが「シブくなる」など、不具合が生じてしまいます。

【用途は?】

大径材の大きさを活かすとすると横架材です。横架材は外国産材のシェアが高く、国産材でまかなえれば、ウッドショックや円安などの海外要因のリスクを減らすことができます。近年、大断面材向けの載荷方法が検討されています。

・十分な重石をのせて乾燥する。従来から行われていました。メカノソープタイプ現象の応用です。板材や割材ならば、乾燥時の圧縮で曲がりを矯正でき、かつ短時間で乾燥できます。近年、大断面材向けの載荷方法が検討されています。

・大断面乾燥の工夫。蒸気式乾燥に負圧（減圧）を併用して、水の沸点を下げ乾燥を促進する方法です。耐圧・密閉構造をもつ蒸気式の乾燥機で、最初に蒸気で生材（乾燥前の材）を十分に加温し、炉内温度を保ちながら排気ポンプで負圧（減圧）にします。近年、負圧可能な乾燥機が普及しはじめました。

・梁の心去り二丁取りは避けた方がよいでしょう（図-2）。側面の部分は無節です。大きく曲がりますが、適切な乾燥をすれば板で使えます。



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「スギヒラタケ、食べちゃいけないの」、関市板取の山で聞かれました。

スギヒラタケ (*Pleurocybella porrigens*) はスギやヒノキなどの切株や倒木に多数重なって生える白色のキノコです。

傘には柄がほとんど無く、傘の形は初めのうちは円形ですが成長とともに耳形〜扇形、ヘラ形になり、身近なキノコとして親しまれ

てきました。しかし2004年秋に新潟や山形、秋田、宮城県などでスギヒラタケを食べた方が、急性脳症を発症して多数の死亡者が出てしまいました。急性脳症は人工透析を受けるなど腎機能が低下した方々が多かったのですが、新潟県では腎機能障害でない方の死亡事例もあり、現在は絶対食べないよう指導するキノコに分類されています。

静岡大学の河岸洋和教授らのグループは、2004年11月にマウスに対する皮下注射実験から、スギヒラタケの水に溶けて熱に強い高分子成分が致死性の毒成分であることを見つけられました。毒成分と急性脳症の因果関係は判然としていません。

また高崎健康福祉大学のグループのマウス実験や、秋田県の医師による原因究明プロジェクトでも、脳症の発症がスギヒラタケによるとは断定できないと報告して

います。

もともと食べられてきたスギヒラタケは癖がなく、口当たりが良かったため、和風にも洋風にも調理され、北陸や中部、東北地方を中心に食用にされてきた歴史があります。海外でも広く食用とされてきた歴史があり、英語では「Angel's wings (天使の翼)」と呼ばれます。

急性脳症が問題となる前の2003年時点での主産地(採取地)は新潟県や秋田県で、その出荷量は約1200kgもあり、100g当たり500円ほどで取引されていました。

スギヒラタケはスギの間伐材利用の一環としても人工栽培が期待されていましたが、菌糸の伸長が遅いため栽培に時間がかかり、子実体(きのこ)の発生が難しく商売



間伐木の切り株から発生したスギヒラタケ

につながるような栽培には至らなかったようです。

スギヒラタケに限ったことではなく、ニセクロハツを食べて多臓器不全で死亡される事例や、ツキヨタケをシイタケやムキタケと誤認して中毒する事例が毎年発生しています。

食欲の秋ではありますが、英語で天使の翼と呼ばれるスギヒラタケを誤食して、本当の天使のお迎えがこないよう注意してください。



山のおじゃまむし



一人気がない、ゾウムシ 【第387回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

私はよく散歩に出かける。よく行くのが飛行場公園だ。このベンチで休んでいるとカラスが近づいてきて、地面を飛び跳ねる。私はカラスに興味がないのでジェット機を見ている。ある日、ベンチに先客がいた。その人は地面にアラレやビスケットを撒いていた。カラスが食べに来るからだという。それから私も与え始めた。与える餌は食パンの切れ端。ある日、それを地面に撒いたら男性の怒鳴り声。「餌をやるからカラスが増えて困っている。餌を拾って帰って行け」。近くの住民なのかすごい剣幕であった。数日後、このことを接骨院の院長に話した。すると院長は「その人は心の狭い人だね。自分だってカラスの恩恵を受けているのに」と言われた。思いもしない言葉。この院長なら「虫の話ができるのではないか」と思った。院長は虫には興味があるという。子供と一緒にカブトムシやクワガタムシを採りに近くの山へ行くと、いろいろな虫が目に入る。「なぜ昆虫はこんなに種類が多いのか。どんな生活をしているのだろう」と思うことがあるという。また、カブトムシやクワガタムシはコナラの樹皮をかじってそこからでてくる甘い樹液を口にしている。しかし、樹液の出ないコナラの方がはるかに多い。カブトムシは樹液の出るコナラがわかるのだろうか。こんな疑問もあるという。さらに院長は「自然界の生物は長い年月をかけて自分の生きる技を身につけてきた。小さな昆虫は多くの動物の餌食になるので、襲われても襲われても、それに耐えうるだけの卵を産む。弱い者の知恵だね」と話された。ここまで理解している院長。私の好きなゾウムシの話をした。

× × × ×

院長が知っているゾウムシはオオゾウムシくらいだと言われた。ごつごつした体に太いゾウのような鼻が目立つからだという。しかし、あとはほとんど知らないとのこと。やはりゾウムシは人気がない。改めて痛感した。「私はそのゾウムシを60年くらい追いかけています。主に岐阜県ですが全国各地へも出かけています」と話すと「すごいですね」と院長。そして「ものすごい標本箱でしょう。どこにあるのですか」と言われた。「自宅です。ゾウムシは1cm以上のものは少なく、大部分が5mm以下なので標本箱にたくさん入るのです」と私。先生は「そのような小さな虫を採集して感動したとか嬉しかったことはありませんか」。すぐに「私が採集したゾウムシの中に新種がいたことです。これをゾウムシの大家、故M博士から聞いたときは本当にうれしくて眠れなかったことを今でも忘れません。その後、さらに4種の新種を見つけました」。この話で院長もゾウムシ

に興味をわいてきたのかいろいろ話し合った。

× × × ×

その主なやり取り。「先生、日本にいるゾウムシは何種くらいだと思います」。「500くらいかな」。「名前のついているのは2000種くらいだけど、この数倍はいますよ」。「種の区別はどこでしているのですか」。「翅の毛の長さや触覚の形などです」。すると院長「そんな小さなゾウムシは毛が擦り切れたりして姿が変わってしまうよ。そんなことで名前を付けているのはおかしいのでは」と言われた。私もこの意見には賛成だった。それはある地域の小さな島のゾウムシ。僅か数10km離れているだけなのに、島ごとに種が違っているという例があるからである。それと今でも学会などで発表されるのは体の毛の長さや形など昔と変わらないのである。だから虫に興味を持つ若者が少なくなっているのである。このため私と虫の話をするのはほとんどが高齢者。虫キチ老人である。よく出てくるのが、分類はこんなに細かく分けなくて、もっと大雑把でもいいのではないかという意見。この地域は〇〇〇種群、向こうは〇〇〇種群などとするのである。よい案だと思うが、駄目だろうな一。



コクゾウムシ

× × × ×

昔から虫を採るのは地上と地中。その下は岩石地帯で生物はいないと言われていたからである。それが驚くことに地下10m部、さらにそれより深い20m部にも生物がいることがわかってきたのである。こんなところにも生物がいる。どんな姿だろう。ゾウムシに似ているのでは。こんなことを思ってしまった。最後に驚く話をもう一つ。前に私は院長に米の害虫であるコクゾウムシを飼育していたら、ものすごい数に増えたことを話したことがある。そのコクゾウムシの化石が8500万年前(縄文時代)の地層から見つかったのである。驚くことに姿、形や大きさは今と同じ5mm。DNA鑑定したので間違いのないとのこと。つまりコクゾウムシは8500万年以上もの間、同じ姿で生きているのである。当時は米がなかったので別のものを食べていたが、そのうちに人間が米を作り始めた。これが運の分かれ目で現在まで生き続けているのである。院長は「すごい！この言葉しかない」と驚いていた。



『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

5

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

自然生態系保全・再生事業 ～上下流域が連携した河川清掃活動～

事業目的

NPO法人や地域住民等民間団体と県が協働し、流域全体を対象とした河川清掃活動に連帯して取り組むことにより、効率的な河川清掃モデルの確立と流域住民の河川環境及び水環境の保全に対する意識啓発を図ります。

事業内容

流域が一体となった効率的な河川清掃モデルを確立するため、流域清掃活動推進事業団体と協働し、河川管理者としての河道内樹木の伐採・除去や、不法投棄廃棄物等の回収を行います。

令和4年度の事業実績

31の県管理河川の36箇所において実施しました。

実施項目	実施内容	実施量
環境整備実施面積	要望を受け樹木を伐採・除去した面積	150,368㎡
環境整備での回収量	回収した不法投棄廃棄物等の量（木くず）	813㎡
環境整備での回収量	回収した不法投棄廃棄物等の量（鉄くず）	0㎡

実施前



実施後



事業実施箇所の状況(関市 長良川)

岐阜農林高等学校から インターンシップ受け入れ

岐阜森林管理署では、岐阜農林高等学校からインターンシップの受け入れを行っています。新型コロナウイルスの影響により数年の間行っていないでしたが、今年度より受け入れを再開し、7月24日～26日の3日間において、国有林野事業の体験を行いました。

初日、岐阜市金華山にある岐阜森林事務所にて岐阜農林高等学校森林科学科2年生の2人が緊張した面



座学の様子

持ちで来所し、元気よくあいさつしてくれました。

はじめに、署担当者より労働安全衛生や労働災害防止に関する説明を行い、学生達は林業労働災害の事例などを驚いた様子で聞いていました。また、国有林野事業の概要等の説明も行いました。

その後、金華山国有林で森林調査の体験に移り、ヒノキ林に20m×20mの標準地プロットを設けて超音波樹高計測器で樹高、輪尺で直径を測りながら野帳に書き込む作業を実施しました。学生に樹高を予想してもらったところ、18mの予想に対して計測結果は17.8mと大正解でした。

藪に阻まれながらも慎重に作業を実施し、午後からは調査内容をもとに報告書類を作成しました。野帳を見ながらデータを作り、収量比率表で確認しながら間伐率を求め、間伐率は29%となりました。最後は必要なデータを入力して、調査内容をとりまとめた「収穫調査復命書」を完成させました。復命書調査員とし

て学生の名前を入れたので、後日学校へ提出するレポートにするとのことでした。

2日目は、古城山国有林で木材生産事業地の見学を行いました。現地に積んである丸太の材積を測る検知作業と、過去に行った列状間伐事業地の作業道跡を利用して、作業道の傾斜などをクリノメーター等で計測しました。現在施業中の間伐事業地では、完成したばかりの作業道や伐倒木を見学しました。

その後、岐阜県森林組合連合会の岐阜林産物共販所へ移動して、共販所の概要について説明を受け、木材価格の動向や木材の見分け方、木材の流通などについて勉強しました。



検知作業の様子

3日目は、治山事業地を見学しました。オートレベルで谷止工の床掘

の高さなどを計測し、ドローンを使用して工事の進捗を確認しました。

川浦国有林では、シカの食害対策として設置したツリーシェルター（幼齢木に被せる筒）を見学し、クマによる剥皮害対策として、生分解性素材で作られたバンドやテープを木の幹に巻き付けました。

専門的な内容が多い3日間のインターンシップでしたが、学生からは「学校では聞けないような話を色々聞くことができ、貴重な体験になった。」との感想をいただきました。

今後も岐阜森林管理署では、学生の皆様に国有林野事業を体験していただけるように、インターンシップの受け入れを行っていきたくと考えています。

(岐阜森林管理署)



谷止工の床掘の高さ計測の様子



ぎふ木遊館通信



8月5日(土)にサマーフェスタを開催しました!

<特別企画 クロストーク&朗読劇>

8月5日(土)にサマーフェスタを開催しました。特別企画では、ぎふ木遊館名誉館長の竹下景子さんとみんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー吉成信夫さんが「竹下景子さんと絵本をダシに語り合う日~子どもの気持ちになってみる~」と題してクロストークを実施しました。

吉成総合プロデューサーお勤めの絵本を竹下名誉館長が朗読し、解説やエピソードを交えたお二人のトークが繰り広げられ、会場はとても盛り上がりました。その後、当館スタッフの「さとやまさん」(ひろばの見守りスタッフの愛称)と「森の絵本」の群読が行われ、参加者のみなさん全員が本の世界に引き込まれました。



クロストークの様子

<サマーフェスタオリジナルメニュー>

木育ひろばやテラスでは、いつもの木のおもちゃ遊びに加え、サマーフェスタオリジナルの様々なメニューが準備され、みなさんに「夏の木遊館」を楽しんでもらいました♪

●ミナモの友達みつけ!

館内に隠れてる、ミナモのお友達の木玉の妖精を探すゲームでは、いろんなところに隠れている妖精をみんな楽しみながら探し、見つけると嬉しそうに妖精の名前をカードに記入していました。

●はだしのトレイル

森林総合教育センター(愛称 morinos)でおなじみの「はだしのトレイル」がぎふ木遊館にやってきました! スギやヒノキの葉っぱや皮、広葉樹の落ち葉等の上を裸足で歩いてもらい、実際に森に行かないとできない感触を体験し、子どもはもちろん、大人にも好評でした!

●顔うちわづくり

木の枝や木っ端などから好きな材料を選んで、人や動物の顔のうちわ作りを行いました。見本をみながら真似して作ったり、自分の顔をイメージしてオリジナルのうちわを作ったり、親子で木工クラフトを楽しみました。

●おさかなタッチプール

本物の鮎やウナギ、どじょうとふれあえる「おさかなタッチプール」では、普段あまり触ることのない魚に大人も子どもも大興奮でした!



「ミナモの友達みつけ!」の木玉の妖精



「はだしのトレイル」



「顔うちわづくり」



「おさかなタッチプール」



やがてみんなの森になる

morinos

morinosの出前体験！！

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施している出前体験についてご紹介します！

<ぎふ木遊館サマーフェスタで『はだしのトレイル』ミニ体験>

morinosは、「ぎふ木育」をともに担う施設である、ぎふ木遊館と連携をしています。その連携の一環として、木遊館サマーフェスタに参加しました。木遊館サマーフェスタへの出前体験は、『はだしのトレイル』ミニ体験版です。本物はmorinosにあるので、気になった人はmorinosにお越しになって、実際に歩いてみてください。

今回、ミニ体験で体感してもらったのは、木材の樹皮無し木肌、スギとヒノキの樹皮付き丸太、スギとヒノキの輪切り円盤、スギの生の葉、スギとヒノキの樹皮、コナラを主体とした広葉樹の葉、スラッシュマツの落葉、マツの樹皮、スギの球果、小石、大きな石、丸太ベンチ、割竹です。素材ごとの、足裏で触れた時の感覚の違いを楽しんでもらいました。



『はだしのトレイル』
ミニ体験版の素材たち



意外と知られてないスギの球果
(スギぼっくり)に興味津々

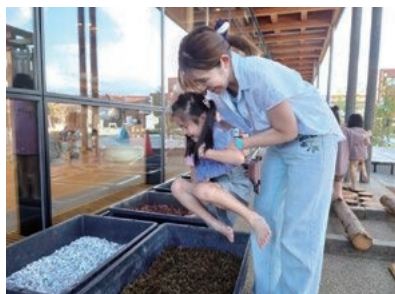


足で触れる葉はどんな感じかな？

今回のミニ体験のコースでの最難関は、なんといっても「スギの球果」。油断してかかるとびっくりするくらいの痛さです。そんな中、果敢にスギの球果に挑んでくださるお子さんもいれば、逆に必死になってスギの球果から逃げているお子さんもみえました。



片足は小石、片足はスギの球果に挑戦



スギの球果に足をつかぬよう、必死に抵抗



多くのお子さんが小石エリアを選んで
次のエリアへ

普段は、はだしで歩くことのない自然物の上。今回はそれを歩いてみて、素材ごとの感覚の違いを感じていただけたことでしよう。願わくは、今回の体験が自然と触れ合うきっかけとなつてほしいです。

ぎふ木遊館での『はだしのトレイル』ミニ体験は、オータムフェスタやウィンターフェスタでも実施予定です。季節ごとに自然物は移り変わるものです。それに合わせてミニ体験の自然物も多少変化するので、楽しみにしててくださいね。

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

住宅型有料老人ホーム きずな

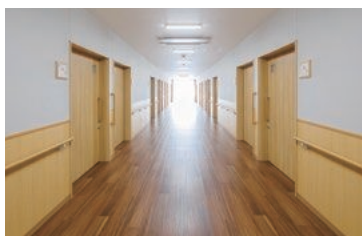
美濃加茂市加茂野町加茂野字南野820番7



施設全景

● 施設の概要

事業年度	令和4年度
事業主体	特定非営利活動法人 ライフテラス
構造 延床面積	木造2階建 990.02㎡
施設用途	住宅型有料老人ホーム
木材使用量 使用樹種	127.8838㎡(内、県産材使用量120.7276㎡) 杉、桧
全体事業費	198,949千円
助成額	16,830千円 (木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	有限会社ワークショップ
施工業者	ミューズ建設株式会社
工期	令和4年6月30日～令和4年12月31日



南廊下

1階多目的室



施設の経緯

「住宅型有料老人ホームきずな」は2023年2月に開設した住宅型有料老人ホームです。施設には県産の杉や桧をふんだんに使用しており、広々とした空間の中で木の温もりを感じながら過ごしていただくことが出来ます。利用者様の尊厳ある生活を守り、居心地がよく安心して過ごしていただける施設となりました。



2階食堂・機能回復訓練室

ここに注目!!

SDGsに貢献!

木材活用の建築物は「強度」「長寿命」「環境共生」が自慢です。

木材の熱伝導率が低く断熱性に優れているという特徴を活かして、快適な居住性を実現しました。

建物の断熱性能を高めることで電気使用量を抑えCO₂削減にもつながります。

地元の木材を使用することで地域経済の活性化を促進します。

利用者の様子

老人ホームは、高齢者施設であると共に、入居者にとっては第2の住まいでもあります。

木材に囲まれた空間は、心をリラックスさせ精神を落ち着かせ「癒し」の効果が生まれます。

■問い合わせ先
住宅型有料老人ホームきずな
TEL 0574-42-7177

ツリーシエルターが ヒノキ苗木の成長に及ぼす影響

森林研究所 ● 大橋 章博

はじめに

ニホンジカの食害対策の一つとしてツリーシエルター（以下、シエルター）が使われています。シエルターには多くの製品があり、設置場所に応じた使い分けができることよいのですが、各資材の特徴を十分に把握できていないのが現状です。

そこで、タイプの異なるシエルターを植栽木に設置して、苗木の成長に及ぼす影響等について調査を行っています。スギ苗木への影響については本誌818号で紹介しています。今回はヒノキ苗木への影響について報告します。

苗木の成長経過

試験は多治見市内のヒノキ造林地で行いました。試験区は、ハイトシエルター（以下、ハイト）、幼齡木ネット（以下、幼齡木）2種（図1）とし、各100本ずつ設置しました。また、同一斜面に設置した防鹿柵内から同時期に植栽したヒノキ苗木100本を選び、無処理区としました。

植栽後5年間の苗木の成長経過を図



図1 使用したツリーシエルター
左:ハイトシエルター、右:幼齡木ネット

2に示します。
樹高は、ハイトが199cm、幼齡木が176cmに対し、無処理が129cmと、シエルターを設置した試験区で明らかに大きくなりました。

根元直径は、幼齡木が21mm、無処理が19mmに対し、ハイトは15mmと、大きな差が見られました。このような差が生じた原因として、ハイトはシエルター本体の直径が小さいこと、シエルター内では風などの影響を受けにくいことから、根の発達や幹の肥大成長が促進されなかったことが考えられます。これに対し、幼齡木はシエルター本体の直径が大きく、風を通すこと、支柱に弾性があり幹が揺れやすいことから幹の肥大成長が進んだと考えられ

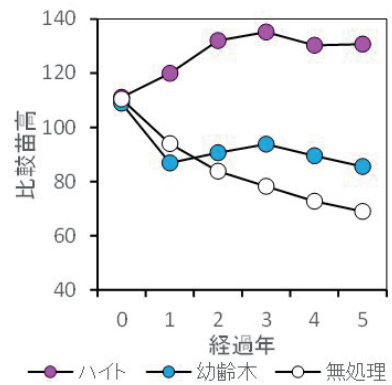


図2 樹高、根元直径、比較苗高の推移

苗木の健全度の指標となる比較苗高（樹高/根元直径）は、無処理では年々低下し、5年後には69となったのに対し、シエルター設置区では顕著な低下は見られず、ハイトは130と非常に高い値となりました。とはいえ、どの資材も5年後にようやくシエルターの高さ（170cm）に達したばかりです。スギの結果では、樹高がシエルターの高さを超えた頃からハイトの樹高を他のシエルターが上回ったように、樹高成長や肥大成長に変化が見られ、どの資材も比較苗高は低下してきました。ヒノキではどうなるか観察していく必要があります。

おわりに

ヒノキは梢端が柔らかく、垂れることから、シエルターを設置すると樹形異常が発生しやすいと言われていました。この試験地では、幼齡木で毎年数%程度梢端曲がりが発生しています。しかし、多くの場合、早期に曲がりを修正することで正常に戻ります。ハイトは梢端曲がりの発生割合は低いのですが、シエルター内を見通せないのも、樹形異常の発生を判別し難いことが欠点です。

やはりシエルターを設置した後は、定期的に見回りを行って、樹形異常の発生を早期に見出し、対処することが大切です。

詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-1331-21585

森林研究所まで



林業デジタル化の推進について

■森林文化アカデミー
森林技術開発・支援センター スマート林業推進係
林業普及指導員 土屋 幸弘

令和2年4月に県庁森林整備課と森林文化アカデミー森林技術開発・支援センター(以下「センター」とします)のそれぞれにスマート林業推進係が設置されてから3年半が経過しました。

これまでセンターでは、様々なデジタル機器を紹介してきましたが、今回は、そのうち特にセンターが導入した機器を中心に現状と課題を報告します。

1 計測機器

従来、資源量調査は、輪尺や樹高測定器等を使つての毎木調査(またはプロット調査)、面積測量は、コンパスを使つて、それぞれ2人ないし3人がかりで、手間や時間をかけて行ってきました。近年、新たな機器の登場で、短時間でかつ一人でも計測ができるようになりました。(安全上、一人作業は避ける必要があります)

センターでは、地上レーザ計測ができるOWLとGNSS測量機器を導入して普及促進を図ってきました。

(1) OWL(テウル)

森林3次元計測システムOWLは、赤外線レーザを使用した森林計測装置です。立木の胸高直径や樹高などの森林情報の計測、解析などを簡単かつスピーディーに行うことができます。だけでなく、自由に視点を移動できる3D画像によって森林の状況を現地に行かなくても見る事ができるため森林所有者への森林所有者への施策提案にも活用が期待されるものです。

現在、本県には11台が導入されています。

ますが、十分に活用されていないところもあるため、一層の活用促進を図っていくことが必要であると考えられています。

このため、8月にOWL-ARナビゲーションシステムの見学会を開催しました。



スマートグラスに表示された画像のイメージ。立木の情報やルート(ピンクの線)などが表示される。

このシステムは、事前にOWLで取得した情報を現地においてスマートグラスで表示するものです。

伐採木やルートをAR(拡張現実)技術を用いてナビゲーションすることができます。

OWLについては、今後も新たな技術が開発されると考えますが、これからも継続的に研修会等を開催し、活用促進を図っていく予定です。

(2) GNSS測量機器

GNSSは人工衛星からの信号を用いて位置を測定するシステムですが、センターでは、RTK-GNSS受信機のDG-PRO1RWPを

導入し、研修等に使用する他、貸出も行っています。

また、各農林事務所にはGNSS受信機のGeode(現地調査システムARUQとセット)が配備されています。



DG-PRO1RWP(上)とGeodeとPDA端末(下)



GNSS測量は、従来のコンパス測量と比較して、測量時や内業の省力化が図られることや森林整備補助事業の申請に使えるようになったことから、県内林業事業者の多くが導入しており、近年のデジタル機器の中では最も普及が進んでいます。

GISでの利用に適していることから、森林施業地の測量だけでなく、今後は、これからの課題となっている境界明確化にも活用されることが期待されます。

2 通信機器

林業の現場での課題のひとつに通信環境の整備があります。従来、携帯圏外での通信手段は、トランシーバーでの音声通信でした。しかし林業の現場では音声だけでは気が付かないことや伝えられないことがあります。ま

た、緊急時に消防や事務所等携帯圏内への通信が必要な場合もあります。

こうしたことから、センターでは携帯圏外通信の実証試験や普及促進に取り組んできました。

(1) Soko-co Forest

Soko-co-forestは携帯圏外であってもメッセージ機能や位置情報等の通信ができるものです。

当初、LPWA通信を利用していましたが、デジタルトランシーバーと組み合わせることで、より安定的により遠くまで(森林内最大3km)通信することが可能となっています。

なお、5月には、スターリンク(衛星通信)を使って携帯圏外と携帯圏内を繋ぐ実証試験を行いました。森林内ではある程度上空が開けていても繋がりにくいという結果になりました。(詳細は森林のたより8月号参照)

(2) GeoChat

携帯圏外通信の手段として、LPWA通信を利用したGeoChatをセンター及び各農林事務所それぞれ子機を3台ずつ配備しました。

GeoChatは、アプリを入れたスマートフォン等と子機を繋ぐことで子機間でのチャットや位置情報の共有、SOS発信などができ、また常設の親機や中継機を経由することで携帯圏内との通信も可能となります。

また、岐阜大学との連携により岐阜大学のネットワークも利用できることから県内林業事業体での導入が期待されるところですが、谷部など

繋がりにくい場所があるため事業体が導入するまでは至っていないのが現状です。

親機や中継機との接続状況や林内における子機同士の通信については、今後とも検証を行っていきたいと考えています。

なお、子機は貸出も行っていきますので興味がありましたら是非ご利用ください。



3 その他の機器

計測機器や通信機器の他にも様々な林業用デジタル機器を導入し、研修会の開催等により普及促進を図ってきました。

(1) 撮影用ドローン及びMetashape

空中写真の撮影、オルソ画像の作成のためドローン及びMetashapeを導入しました。

それぞれの操作研修を行ってきましたが、今のところ森林整備事業補助金交付申請にオルソ画像が使われた実績はありません。

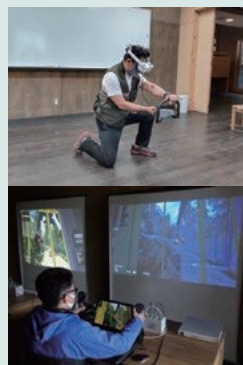
ドローンの活用促進を図るため、センターでは、架線作設時に予備線をドローンで張るなどの指導も行っています。

また、今後は、獣害防止施設の点検等にもドローンの活用が期待されています。

(2) 伐木技術教育VRシミュレータ

チェンソー伐木に伴う労働災害をVRで体験することで、安全作業に対する意識の向上を図ることを目的として導入しました。

実際にチェンソーを使っている人ほど体が大きく反応する傾向があることから、リアルな体験ができると林業事業体の安全衛生教育などへの貸出に人気があります。



上段は、伐木教育VRシミュレータ
下段は、ハーベスタシミュレータ

(3) ハーベスタシミュレータ

高性能林業機械のオペレータを養成するにあたって、実機を使用しての訓練には限りがあります。

このため、思う存分操作訓練ができるようにと、高性能林業機械の中でも最も多機能で高度な操作技術が要求されるハーベスタのシミュレータを導入しました。

こちらの機材も貸出を行っており、伐木技術教育VRシミュレータと共に人気があります。

(4) FRD

FRDは、航空レーザ計測で得ら

れた地形データを使って路網の設計を支援するソフトです。

センターでは、林業事業体向けの研修会を開催して普及促進を図っています。

県内ではまだ数件しか導入実績はありませんが、新規で導入しようとする事業体もあり徐々に浸透し始めている。

県庁森林経営課に配備されているものは各農林事務所への貸出も行っていきますので、興味があれば、お近くの農林事務所にご相談願います。

おわりに

ここ数年の間に急速に林業のデジタル化が進んでいきます。

こうした機器は高額な上に、技術の進歩が目覚しく、せつかく購入しなくてもすぐに陳腐化してしまうことを恐れて導入に踏み切れない事業体もあるかと思えます。また、デジタル化はよくわからないし面倒そうとか、デジタル化をしなくても従来の方法で業務はできるからと考えられていくかもしれません。

そのような場合は、リースやサブスクでの利用を検討してはいかがでしょうか。

まずは、使ってみることから始まります。是非前向きな取組みをお願いします。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-630-0300

森林文化アカデミー スマート林業推進係まで



豊富な保証実績により経営をサポートします



～林業信用保証のご案内～

公的機関である独立行政法人農林漁業信用基金では、「林業信用保証」として、林業・木材産業を営む方が融資機関から融資を受ける際に、その債務を保証することにより経営をサポートしています。

17万件もの豊富な保証実績がある林業信用保証をご活用ください。

林業信用保証の主な内容

◆対象資金

苗木や立木の購入費用、燃料費、人件費等の運転資金、建物、林業機械、木材加工機械の整備等のための設備資金など、事業用資金全般です。

◆保証料率

年0.15～1.80%以内（日割り）と低位で、財務内容に応じて適用します。

◆主な保証メニュー

- ・都道府県が無利子又は低利で貸付を行う「林業・木材産業改善資金」や「木材産業等高度化推進資金」への保証
- ・森林組合や素材生産会社等で経験を積み起業される方や、他業種から林業・木材産業へ新たに進出される方の資金繰りへの保証
- ・自然災害、新型コロナウイルス感染症、原油等価格高騰の影響により事業継続に支障が生じている方の資金繰りへの保証 など幅広く対応しています。

◆対象業種



造林・育林



素材生産



木材・木製品製造



薪炭生産



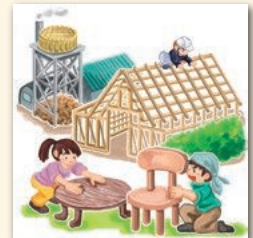
林業種苗生産



きのこ生産



木材卸売等



木材製品利用等

↓↓↓ お気軽にお問い合わせください ↓↓↓

独立行政法人 農林漁業信用基金

電話 03-3434-7825 (林業信用保証管理部)

kikin-ringyo@jaffic.go.jp

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
10月19日(木)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間：学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月8日(水)~ 11月10日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間：8日 学科 8:50~17:10 9日 学・実 8:50~12:00 10日 実技 8:30~17:40 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	8日(学科)・9日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 10日(実技) (樹木の国 土場(山県市椎倉 203-1)) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月14日(火)~ 11月17日(金)	フォークリフト運転技能講習 受講資格 自動車普通運転免許所持者	●講習時間：1日目 学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ●申込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定員：20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門 850-67) (実技) ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
12月6日(水)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間：学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム 私は今年の4月から今の職場への異動で、岐阜市に引っ越しをしました。職場近くのマンションを借りることができ歩いて通勤できるうえ、部屋も広くとても満足をしています。ただひとつ問題があり、キッチンがとても暑いことです。熱がこもりやすく、エアコンの冷気も届かないため、10分もキッチンにいと大粒の汗がこぼれてきます。先日、岩盤浴に行きましたが、自分の家のキッチンの暑さに近いものがあり、これなら自分の家のキッチンでいいのではないかと感じてしまいました。原稿を書いている現在は8月の下旬であり、あと少し我慢すれば暑さも和らいでくると信じ、日々キッチンに向かっております。来年はなにかしらの対策を講じたいところです。

「森林のたより」編集委員 県産材流通課 林 大我

イベント情報

11月1日発行

連載

- 山の歳時記(219)
- 山のおじゃまむし(388)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(130)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(128)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

11月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1831回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,500	—	↘	
		4 m	16~18cm	14,000	—	↘	
			20~22cm	14,500	—	↘	
			24~28cm	14,500	—	↘	
			30cm以上	12,700	20,800	↘	
	6 m	16~18cm	—	—	↘		
	9月12日	ひのき	3 m	16~18cm	20,500	—	→
			20cm以上	18,800	—	→	
		4 m	16~22cm	20,300	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
30cm以上			18,700	28,300	→		
6 m		16~18cm	—	—	→		
第1421回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,400	—	↘	
		4 m	24~28cm	14,400	—	↘	
			30cm以上	12,000	15,000	↘	
	ひのき	3 m	16~18cm	19,000	—	→	
		4 m	20~22cm	19,000	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
			30cm以上	20,000	38,600	→	
		6 m	16~20cm	25,000	—	→	
	9月6日	ひめこ	4 m	24~28cm	16,000	—	→
			30cm以上	15,000	—	→	
5 m		30cm以上	—	—	→		
くり	4 m	24cm以上	15,000	24,000	→		
第1754回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,000	—	↘	
		4 m	24~28cm	14,000	—	↘	
			30cm以上元	15,000	—	→	
	ひのき	3 m	16~22cm	19,500	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
			30cm以上元	25,000	49,000	→	
		4 m	13cm以下	10,000	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
			30cm以上元	25,000	—	→	
	9月7日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	→
30cm以上元			11,000	—	→		

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ、ヒノキは全体的に引き合いは弱く、市中当用買い傾向がみられる。スギ4m元木、尺上良材は応札はあるが、材の傷みを懸念し様子見にて弱含み。スギラミナ向け3m・4m材も弱含み。ヒノキ元木、尺上良材3m・4m役物取りも様子見にて弱含み。ヒノキ3m柱取、4m土台取りも弱含み。合板向けは製品の荷動きが鈍く、弱基調で引き続き原木受け入れ調整が継続。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキは全体的に引き合いは弱いまま。大型製材工場も生産調整が続き原木在庫は減っておらず、集荷を急ぐ様子は見られない。広葉樹はサクラ、ウダイ、クリ良材に引き合いが強い。高値はスギ3m×68cm@40,000円、イチイ2m×46cm本代80,000円、サクラ2.1m×28cm@40,000円、ウダイ2.2m×36cm@29,800円(飛騨)

住宅需要に回復感がみられず構造材関連の不振が継続し、価格は弱含みであるが、秋以降の新材入荷への要望も聞こえ始めている。ヒノキ3m柱向け(14cm~24cm)は、依然荷動き重たく弱含みでの展開。土台、中目向けはやや動きあり。スギ4m中目尺上元木良材は、原木が傷みやすい時期での当用買いが中心で弱含みで推移。3m・4m構造材向けについては市中製品価格軟化の影響を受け弱含みで推移。合板向けは、製品荷動きが鈍く弱基調、原木受入調整は継続しているが、ヒノキについては、若干の動きがみられる。(東濃)

製品卸売標準価格 (8月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本枚)単価	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	75,000	(2,481)	→
	間柱	3000	105	30	1等	75,000	(709)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	80,000	(3,528)	→
	柱	3000	120	120	特等	75,000	(3,240)	→
W ウッド材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	(3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	98,000	(4,200)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (8月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	432	→
	コースト(目荒)	421	→
米楸	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

はしら 柱取り

末口(木の先側、直径が小さい方)の直径が14cm~18cmの原木のこと。心持ち柱角を最も歩止まり高く製材することが出来るのでこう呼ぶ。丸みのない10.5cm角柱を製材する場合は末口径が15cm以上、12cm角は17cm以上が必要となる。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典